

10月1日(月)誕生
新・市民文化会館

上質で快適な空間

音響性能が向上

ホール
また、スタ

開館時間 9時～22時(10月1日は12時開館)
休館日 毎月第4月曜日、年末年始、その他臨時休館あり
問合せ (公財)茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団 ☎(85)1123

2階 メインエントランス 市民ロビー

バリアフリーで快適に

2階市民ロビーから大ホールへの段差をなくし、大ホールにエレベーター、小ホールにエスカレーターを新設。2階メインエントランスへの階段には、手すりやスロープを設置しました。トイレを大幅に増設したほか、多機能トイレや授乳室の設置など、どなたでも利用しやすくなりました。

2階 メインエントランス



2階メインエントランス前には新たにスロープを設置(写真上)し、階段には手すりを新設(写真下)



2階に花屋カフェ 季節の花を眺めよう

市内に3店舗を構えるオーストラリア系花屋カフェ「8CAFE+FLOWER」が茅ヶ崎の農産物を積極的に活用し、フルフラワー(食用花)で彩ったスイーツをみただけです。

フラワーギフトを事前予約でご利用ください。

問合せ 8CAFE+FLOWER ☎(85)1123

オープニングウィーク期間限定
スイーツのみとなります

寄付のお礼

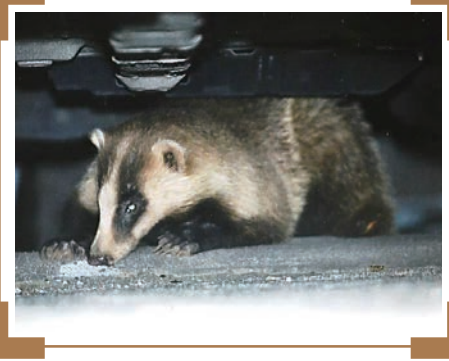
期間限

134の個

レミアム

茅ヶ崎の身近な自然 ニホンアナグマ

写真・文／文化資料館自然資料整理グループ



ニホンアナグマはイタチ科のほ乳類で、本州、四国、九州に分布します。主に平地から丘陵地の森林に生息しており、近年は都市近郊部の緑地でも確認される野生動物です。

あとが目立ちます。雑食性で、昆虫、カタツムリなどの軟体動物、カエル、ミミズのほか、リンゴや柿なども好んで食べます。都市近郊部では、生ごみや犬猫の餌も食べるといわれています。

◎4月に茅ヶ崎で確認

今年4月、夜間に市内の住宅地の車の下に潜んでいたニホンアナグマが確認されました。特に警戒している様子はなかったそうです。その後の消息は不明で、茅ヶ崎に普通に生息しているのかなどは分かっていません。

◎タヌキ寝入りの習性も

ニホンアナグマは見た目もタヌキに似ていますが、タヌキと同じように、驚いたり外敵に襲われそうになったりすると、タヌキ寝入り(擬死)をする習性があります。



市内の住宅地で確認された

ニホンアナグマは夜行性で地下に自分で巣穴を掘り、単独で行動します。ずんぐりした体型で、全長65cm前後、体重は8kg前後です。足あとは、前足と後足の形や大きさはほぼ同じで5cm程度、5本の指と爪の

また、特に寒冷地では冬季に巣穴で冬ごもりをします。期間は地域によって差があり、11月～4月あたりに3～5か月程度冬ごもりするといわれています。市内でニホンアナグマの足あとや姿を見かけましたら、文化資料館に情報をお寄せください。

【文化資料館 ☎(85)1733】